

インフルエンザの流行まだ続く



今年のインフルエンザはまだ多いようです。

南足柄市では暮れに、子供の間でA型が大流行でしたが、現在は流行が大人の間で広がっている。

最近インフルエンザの吸入剤は効き目が良く、熱などは1日で解消してしまうことが多く、インフルエンザにかかった人が早く職場復帰してしまつて、流行を広げているのかも知れません。



今年のインフルエンザはあまり重症化せず、高齢者でも入院するような人、嘔吐、下痢症もほとんど居られません。



このインフルエンザに混じって嘔吐、下痢の胃腸炎の人も時々居られますが、最も感染力の強いノロウイルスによるものではないようです、この方も割合治りが良いようです。

予防



インフルエンザも嘔吐、下痢も手についたウイルスを口から入れてしまうことが多い理由です。ですから、流行時には、いつもより手洗いを良くして下さい。



患者さんよりの投稿

石川 保 様 (中沼)

「箱根駅伝 今昔物語」

横浜国大

(当時神奈川師範学校)

ないない尽くしの復活大会

第二十三回大会7区

第二十四回大会10区

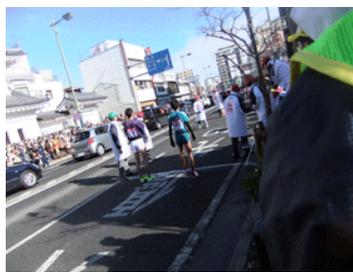


今から五十年前、戦後間もない昭和二十一年復活第一回大会が開催されることになり、坂井先生や先輩の発意によって夢でもあった東京箱根大学高専駅伝競争大会に出場することが決まりました。しかし、先生以外はほとんど知識はなく意気ごみのみが大きく、一区間二十キロ以上を走り抜く自信は全くなく不安も大きかったのです。(中略)



すべてが不足の時です。合宿する旅館など到底なく、一年目は学校の寮で、二年目は小田原市本町小学校で合宿し、家から布団を運びこみ、がまこざ一枚敷いた寒い教室へ泊まり、早起きして炊事当番をやり、母親の有り難味をしみじみ感じたものでした。

すべてが、ないない尽くしの時代。部員の情熱と根性で復活大会に初参加しました。



今ではテレビで見ただけの箱根駅伝に2回も出走された中沼の石川保さんから貴重な資料をいただきました。

今年順天堂大の五区を走った選手は、岩原の相洋高出身だそうです。



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。



院長誕生日 1月10日

1月・2月の休診日

休 診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜



E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp